

# 海蔵川探検隊・うみくら

## ●表彰活動の内容

四日市市内を流れる都市型の河川でありながら、希少種を始めとして豊かな生物相と憩いの空間を保持している海蔵川を未来に残すために、地域の自治会や学校向けに自然観察会を行うとともに、行政と連携した保全活動を実施しています。自然観察会などを通じて、野鳥、昆虫、陸生植物、魚類など水生生物の生息状況をモニターし、よりよい環境保全のために、行政への提言を行っています。

## ●活動の内容(詳細)

【調査、観察会】(魚、水生昆虫、野鳥など)

小学校の総合学習、子どもエコクラブ、地域の住民・子ども、社会人の団体などを対象として

【調査】(海蔵川とその周辺の生きもの)

水中の魚類や昆虫類、川の中州・河川敷・周りの水田や畑の植物、野鳥、両生類ハチュウ類も観察すれば記録

【堰調査】

回遊性の魚類等が遡上できる機能を発揮しているか

【公共工事における希少種の保護、保全活動】

現在工事が進められている北勢バイパス工事において、海蔵川にかかる箇所は希少種と呼ばれる動植物が多数生息・自生しており、通常の工事を行えばその個体は絶滅の恐れがあるため、国土交通省に提言し希少種の保全活動を共同で実施している。

## ●活動の目的

北勢バイパスが海蔵川の希少生物が生息するポイントを通るということで、バイパス建設の問題提起をするために集まったものであるが、現在は国土交通省、三重県、四日市市と連携・協調しながらよりよい河川環境・市民と川のかかわり合い方を模索しています。

また調査活動で見えてきた、身近な川の豊富な生物相を一人でも多くの方に知ってもらうため、様々なPR活動をしています。

この素晴らしい身近な自然を次世代へ伝え残すことを目標にしています。

## ●経歴(概要)

- ・平成17年海蔵川を愛するメンバーで探検隊を結成
- ・平成17年より年4回 海蔵川において、堰が水生生物に与える影響を調べるため、三重県の「みえのうみ」事業より支援を得てモニタリング調査を開始
- ・平成17年より年4回 野鳥・植物のモニタリングを開始
- ・水生生物、野鳥、植物の希少種を確認することにより、豊かな生物相を確認
- ・平成18年より観察会を実施し、市民に伝える活動を開始
- ・連合みえ、子どもエコクラブ等と連携して、広く観察会を実施
- ・平成20年7月菰野町立鶴川原小学校を対象として総合学習での自然観察会を実施、以後継続

## ●今後の予定

現在のメンバーの数は少ないですが、様々な世代の、それぞれ得意分野を持ったメンバーが集い、楽しみながら定期的に無理をせずに活動を行っています。

メンバーがまず豊かな海蔵川の自然を楽しむこと、そして、楽しんでいる姿を他の人たちに伝えることから始めています。また、積極的にリーダー養成のスキルを身に付け、外に向かって開かれた活動を目指しています。

興味のある方はぜひ一緒に活動してみませんか？